

常任・特別委員会の動き

不法投棄及び落書き対策 観光都市として更なる強化を図る

厚生環境

厚生環境常任委員会は、九月七日に開催され、議案一件、陳情二件を審査した。その結果、議案は可決すべきもの、陳情は全て趣旨了承と決定した。

また、①「藤沢型地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組②藤沢市地域包括支援センター(いきいきサポートセンター)の増設
③藤沢市の不法投棄及び落書き対策の取組―以上三件について報告を受けた。
○藤沢市の不法投棄及び落書き対策の取組について
(市の説明)
不法投棄及び落書きについては、個人及び法人等の財産に損害を与える犯罪であり、放置すればより重大な犯罪を招くおそれがあるため、本市では、軽微なものでも徹底した対応を図っている。

不法投棄については、ごみの戸別収集の実施により、件数及び量は年々減少しており、平成二十七年年度からさらに、雑がみと本及び雑誌を統一した戸別収集の資源集積所の縮小、民地への不法投棄防止カメラの貸し出し等を実施している。一方、たばこの吸い殻等のポイ捨ては、犯人の特定が難しく、減少していないことが課題となっている。
落書き消去への取り組みについては、二十七年五月にふじさわスマートチェック(※)により落書きを消去している場所を特定し、七月末日までに公共施設等の落書き約六百件を消去した。民地についても、土地所有者に消去の依頼等を行っている。また、六月を落書き対策強化月間とし、その総決算として、六月二十八日



第1回藤沢市の落書き消し隊! 決起集会における消去活動

建設経済常任委員会は、九月四日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨了承と決定した。
また、①藤沢市道路整備プログラム策定に向けた取組②石川丸山緑地保全計画(案)―以上二件について報告を受けた。
○石川丸山緑地保全計画案(市の説明)
石川丸山緑地の良好な自然環境を将来にわたって引き継ぐため、保全に向けた具体的事項を示した保全計画案を作成した。
緑地保全整備計画として

石川丸山緑地の保全 都市計画決定を目指す

建設経済

建設経済常任委員会は、九月四日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨了承と決定した。

は、脆弱な環境を守るため、立入制限区域を設定した上で立ち入り防止柵等を設置することとする。
今後のスケジュールについては、地権者等との合意形成に取り組み、関係機関との協議を経て、平成三十一年度都市緑地及び特別緑地保全地区の都市計画決定

権者及び市のコスト負担等の観点で検討した結果、①都市公園法に基づく都市緑地②都市緑地法に基づく特別緑地保全地区③農業振興地域内の農用地区域―以上三つの手法を組み合わせた。

○児童・生徒の健全育成に
向けての学校と警察との情報連携制度について
(教育委員会の説明)
平成十四年五月に、国から各地方自治体及び各都道府県警察に対して、学校と警察との連携強化を図り、非行防止対策を推進するよう通知がなされた。これを受けて、現在では、各自自治体において警察と学校との連携制度が整備されつつある。本市においても、問題行動の未然防止に努めているが、対教師暴力や器物損壊、インターネット上の匿名性

建設経済常任委員会は、九月四日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨了承と決定した。
また、①藤沢市道路整備プログラム策定に向けた取組②石川丸山緑地保全計画(案)―以上二件について報告を受けた。
○石川丸山緑地保全計画案(市の説明)
石川丸山緑地の良好な自然環境を将来にわたって引き継ぐため、保全に向けた具体的事項を示した保全計画案を作成した。
緑地保全整備計画として

児童・生徒の健全育成に
向けての学校と警察との情報連携制度について
(教育委員会の説明)
平成十四年五月に、国から各地方自治体及び各都道府県警察に対して、学校と警察との連携強化を図り、非行防止対策を推進するよう通知がなされた。これを受けて、現在では、各自自治体において警察と学校との連携制度が整備されつつある。本市においても、問題行動の未然防止に努めているが、対教師暴力や器物損壊、インターネット上の匿名性

児童・生徒の健全育成に
向けての学校と警察との情報連携制度について
(教育委員会の説明)
平成十四年五月に、国から各地方自治体及び各都道府県警察に対して、学校と警察との連携強化を図り、非行防止対策を推進するよう通知がなされた。これを受けて、現在では、各自自治体において警察と学校との連携制度が整備されつつある。本市においても、問題行動の未然防止に努めているが、対教師暴力や器物損壊、インターネット上の匿名性

投棄二十四時間通報制度に
第二回藤沢市の落書き消し
隊! 決起集会や、ポイ捨て
期消去とともに啓発ステッ
カー及び絵画等のラッピン
グの貼付等による落書きさ
れにくい環境の整備⑦市民
等と連携した落書き及び不
法投棄・ポイ捨て防止に関
するイベントの開催―以
上七点を実施していく。
今後のイベントとしては、
策を拡充していく。

空き家対策基本方針(案)
適正管理及び利活用を推進
総務
総務常任委員会は、九月
九日と十日に開催された。
九日の委員会では、議案
五件、請願一件、陳情四件
を審査した。その結果、議
案は全て可決すべきもの、
請願は不採択とすべきもの、
技大会におけるセーリング

本市の空き家に対する考
え方や取り組み内容、推進
体制等については、本年五
月に施行された空家対策
の推進に関する特別措置法
等に基づき、藤沢市空き家
対策基本方針として、本年
度内にまとめ、適正管理及
び利活用を推進する。
また、既に法律が施行さ
れているとともに、市民か
らも早期の対応が求められ
ていることから、基本方針
に先行し藤沢市空き家の適
正管理に関するガイドライ
ンを定め、広報やホームペ
ージ等による市民周知と

地産地消推進事業
新たなロゴマーク作成
補正予算
補正予算常任委員会は、
九月十日に開催され、議案
一件を審査した。その結果
議案は可決すべきものと決
定した。
○平成二十七年藤沢市一
般会計補正予算(第四号)
(主な質問と答弁)
質問 地産地消推進事業の
ロゴマークについて、平成
二十三年度に五十万円で作
成されたが、今年新たに四
倍の二百万円を計上して作
成するのはなぜか。
答弁 藤沢市地産地消推進
協議会において、湘南ふじ
さわ産物推進店のママー
ク利用にあたり、現在のマ
ークが洋食店になじまない
等の意見を受けている。そ
のため、どの店舗において
も違和感のないデザインに
する。

作成を目指すとともに、二
十八年四月から始まる第三
期地産地消推進計画の取り
組みを進めるものである。
質問 市民公募等によって
経費をかけるより良いデ
ザインのものを作るという
意見はなかったのか。
答弁 今回の図柄は「藤沢
産」とすることで、前回の
「湘南ふじさわ産」よりも
明確に藤沢で生産されたこ
とを強調する狙いがある。
また、シティプロモーション
で使用されているキュン
マークの利用とのバランス、
現在の湘南ふじさわ産利用
推進制度のさらなる活性
化に見合うもの等、さまざ
まな意見、制約を取り入れ
る必要があることから、専
門的なデザイン会社に委託
する。

総合防災訓練を視察 ―災害対策等特別委員会―

災害対策等特別委員会は、八月二十九日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された平成二十七年藤沢市総合防災訓練を視察した。

災害対策等特別委員会は、八月二十九日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された平成二十七年藤沢市総合防災訓練を視察した。
この訓練は、大規模災害発生時の初動体制確立と実災害に対応するため、防災が実施し、市内随所で家屋

(※)ふじさわスマートチェック…職員の出退勤時及び休日等に公共施設等の維持・管理上の問題を発見した場合、担当課に連絡する制度。